



ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組状況について（令和２年度）

厚生労働省では、全国のハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに、就職支援の強化に取り組んできました。

大分労働局管内のハローワークにおける、令和２年度の総合評価の結果は、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることに留意が必要な中、以下のとおりとなりました。

なお、各ハローワークにおいて、重点的に取り組んだ事項、また、指標ごとの実績及び目標達成状況については、「就職支援業務報告」（別紙参照）のとおりです。

今年度においても、継続的な業務改善等に取り組み、求人者・求職者サービスの向上に努めてまいります。

各ハローワーク別マッチング機能に関する業務の総合評価の結果

ハローワーク	総 合 評 価
ハローワーク大分	良好な成果
ハローワーク別府	標準的な成果
ハローワーク中津	良好な成果
ハローワーク日田	良好な成果
ハローワーク佐伯	良好な成果
ハローワーク宇佐	良好な成果
ハローワーク豊後大野	良好な成果

ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組状況報告

【令和２年度評価結果】

□評価・改善の取組の概要	P 1 ～ 3
□各ハローワークにおける就職支援業務報告（総括）	P 4 ～ 1 0
□主要三指標の進捗状況	
・就職件数（常用）	P 1 1
・充足件数（常用、受理地ベース）	P 1 2
・雇用保険受給者の早期再就職件数	P 1 3

大分労働局職業安定部

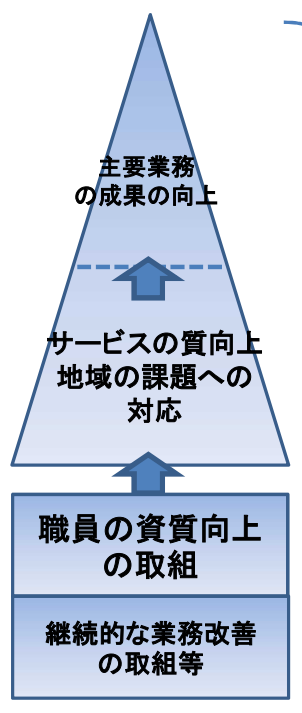
ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組（令和２年度結果）

ハローワークの機能強化を図るための従来の目標管理・業務改善の
拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づ
く全国的な業務改善にかかる令和２年度の実施結果を公表します。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組（概要）

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改 善の拡充

- 従来取組（就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、
 - ①業務の質に関する**補助指標**
 - ②ハローワークごとに地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を新たに設定し、目標管理を実施。



中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
 - 労働局がハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループ毎に分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに**実績・総合評価及び業務改善の取組等**をまとめ、労働局が公表。
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局によるハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③好事例は全国展開（評価期間終了後）労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワーク共通の 評価指標 (主要指標・補助指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 求職者に対する紹介率

ハローワークごとの重点的な 取組の評価指標 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職件数
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 生活保護受給者等の就職件数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

ハローワーク大分 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、雇用保険受給者早期就職件数の目標達成を最重要課題とし、求職者担当者制による個別支援において、事前マッチングによる求人情報提供を強化しました。その結果、就職件数などの３つの主要な指標のうち、当該指標の達成率が最も高率となりました。

就職促進強化期間（11月～12月）においては、マッチング求人情報の提供、応募意向確認、希望条件の明確化、プラスワン紹介を強化し、コロナ禍での就職件数の確保に努めました。

また、障害者の就職促進について、関係機関が役割を分担し、就職に向けた準備から職場定着までの支援を行う「チーム支援」を積極的に実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

障害者の就労支援には障害者の特性を理解することが重要であるとの観点から、精神障害者雇用トータルサポーターを中心に知識向上研修を毎月１回実施し、さらに、発達障害の特性がうかがわれる求職者に対する就労支援にかかる研修を２回実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ユースエール認定企業について、インフォメーションシートを作成し、所内に掲示・配架、窓口や合同企業説明会にて配布、来所者端末へ掲載する等により求職者へ積極的にPRしました。

就職氷河期世代へ向けては、合同企業説明会に相談ブースを設置するなどにより、正社員チャレンジコーナーの支援内容を周知しました。

新規学卒者や既卒３年以内の求職者に対しては、新卒応援ハローワークの利用を促すため、SNS（LINE及びFacebook）を活用した情報発信を積極的に実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムの刷新に伴い、今後は特に求人者・求職者マイページ登録にかかる周知広報及び登録の促進を強化します。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン職業相談及び動画配信による業務遂行体制を確立します。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、新規求人数は前年度と比べて16.9%減少しました。業種別にみると、宿泊業・飲食サービス業（卸売・小売業含む）が32.8%の減少、サービス業が25.8%の減少となり、他業種よりも減少幅が大きいものとなりました。有効求人倍率については、令和２年４月に1.48倍であったものが令和２年９月には1.19倍に低下したものの、年間を通じ１倍を超える高水準で推移し、新規求職申込件数も昨年度と比べて2.0%減少するなど、引き続き労働力需要は高いものと思われます。しかしながら、30名以上の規模での離職が数件みられたことなどから、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響は引き続き注視が必要であると思われます。

このような中、令和２年度の業務遂行にあたっては、全体的にブレーキをかけざるを得ない状況であったため、多くの求人者・求職者へ向けた取組については目標未達となった指標がある一方で、就職支援ナビゲーターによる正社員就職件数、マザーズハローワーク事業における重点求職者の就職率、生涯現役支援窓口での就職件数など、きめ細かな個別支援によるものについては目標を達成することができました。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職 件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介により、正社員に結 びついた就職氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職 件数	障害者の 就職件数	就職支援ナビゲ ーターの支援に よる正社員就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支 援対象者の 就職率	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件 数
実績	6,818	7,779	2,428	104.9%	578	23,955	3,400	361	698	94	176
目標	7,406	8,381	2,483	111.1%	635	25,591	3,700	456	675	93	176
目標達成率	92%	92%	97%	94%	91%	93%	91%	79%	103%	100%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

4

ハローワーク別府 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

令和２年度は就職件数の目標達成のため職業相談窓口の活性化策に重点的に取り組みました。具体的には、求職者自身の自己理解を深めるためキャリアインサイトの活用、就職へ即効性のある応募書類の添削指導、模擬面接の実施、総合受付における相談窓口への誘導等による窓口利用喚起や就職に対する緊要度の高い雇用保険受給者への早期の求人情報提供等を重点的に取り組み、職業相談窓口での相談件数の向上に一定の効果がありました。併せて、所内に配置している来所者端末のテロップの活用や相談窓口案内カードの設置により、ハローワークシステムの求職者マイページの登録や就職支援メニューの周知を積極的行いました。

また、新型コロナウイルス感染症予防により窓口での相談時間等が制限される中、電話による職業相談や求職者のニーズに応じた求人情報の提供を積極的行いました。

さらに、コロナ禍においても人手不足が深刻な医療・福祉、運輸関係の求人に特化した求人票や週休二日制等求職者が重視する求人条件を設定した求人票の掲示などにより求人充足サービスの充実を図りました。これらの掲示板等の前で立ち止まって求人を見ている利用者をよく見かけました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、２つの職業相談窓口を統合して大グループ化を図っているため、幅広い対応が求められる窓口職員の研修を定期的に行っています。研修では窓口で実際に起きた困難事例を中心に、就職に向けた今後の支援の方向性や対応方法等について検討を行っています。

また、就職支援メニューの一つである模擬面接は令和元年度から就職支援ナビゲーターなどを中心に面接スキルのアップのための研修としてキャリアコンサルティング動画の鑑賞と評価と振り返りを行い、窓口の専門性の向上を図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

求職者自ら求人を検索できる来所者端末に「相談カード」を配置するとともに、来所者端末の初期画面に窓口利用の案内表示を行い、窓口での相談を勧奨するとともに、フロアナビによる声掛けを行い窓口への誘導を図りました。また、模擬面接の充実・強化（模擬面接チームによるパンフ・質問集・振り返りシート等の導入）を図り、ハローワーク利用の有益性を高めるなど就職支援サービスの充実を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①「事業所ミニ説明会・面接会」については、毎週月曜の定期開催やプライバシーの確保のためブースをパーティションで仕切るなどの工夫を行い、求人・求職窓口において参加を呼びかけましたが、特定の業種の事業所が参加することが多かったため応募者も低調となっていました。そのため、来年度においては、広く多くの業種の企業が参加し、また、応募者の増加が図られるよう事業所及び求職者への周知方法について創意工夫を行う必要があると考えています。

②温泉・観光が基幹産業である別府市では、新型コロナウイルス感染症の影響により求人数が大幅に減少し、管内の令和２年度における有効求人倍率は0.77倍と非常に厳しい雇用情勢となりました。このような状況の中、求人者・求職者のマッチングを高めていくためには、求職者の条件に適合する求人を確保することが極めて重要です。このため、今後の求人開拓の重点を正社員求人や多くの求職者が希望する求人に置き、併せて、その開拓求人の充足を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光産業は大打撃を受け関連産業も含め深刻な状況となっており、倒産や人員整理等により離職者が急増しました。今後、ワクチン接種による早期の収束が期待されるところですが、それまでは雇用調整助成金等の活用を推進し、雇用の維持を図るよう働きかける必要があります。

また、離職者の就職促進にあたっては、求人開拓による求人確保や職業訓練を活用した職種転換などの対策が重要になっていくと思われます。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	3,103	2,716	1,049	87.9%	135	6,176	1,510	94%	93
目標	3,395	2,967	980	101.8%	177	6,761	1,607	93%	104
目標達成率	91%	91%	107%	86%	76%	91%	93%	100%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク中津 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項 ① 各指標に対する取組 当所では、ミスマッチの解消及び適格紹介により、就職件数を確保するため、求人部門と職業相談部門による合同の朝ミーティングを毎日実施しており、求人部門職員が直接、職業相談部門職員へ求人内容の説明をすることで、求人内容の適格な把握による適格紹介につながるとともに、職業相談部門職員から求人内容について質問・意見等することで、求職者側の視点を踏まえた求人内容の充実を図っています。 なお、朝ミーティングでフォローアップ求人を設定し、輪番制による当番者が求人情報提供するとともに、適宜、各自の重点求職者に対し情報提供を行っています。 また、管内求人事業所の職場環境や作業工程を把握して、より綿密で具体的な職業相談を行うため、求人部門職員に職業相談部門職員が同行しての職場見学を実施しました。 ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組 当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談部門及び求人部門職員を対象として、助成金担当職員を講師とする助成金業務研修を３日間実施しました。 また、精神障害者雇用トータルサポーターを講師とする精神障害者雇用に関する研修を２日間、所長講師による所内業務研修（個人情報管理・綱紀の保持及び接遇、非常勤職員の勤務条件等）を３回実施しました。
（２）サービス改善・業務改善を図った事項 近年の人材不足を背景に、庁舎内面接室の借用者（派遣会社、保険会社等）による求職者への声かけ、庁舎周辺道路での声かけ等による苦情が寄せられるため、面接室利用規程を策定の上、借用者に利用条件を遵守させるとともに、来所者への注意喚起文を作成の上、庁舎敷地内に掲示して苦情対応するなど、求職者が安心して利用できる環境づくりに努めています。
（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について 建設、運輸、医療・介護・福祉など有効求人倍率の高い職種のみならず、管内主要産業である自動車製造および関連業種等の製造業においても人手不足感は深刻さを増しており、求人充足対策が大きな課題となっています。そのため求人受理時における求人条件の詳細な聞き取りや、求人受理時及び受理後の求人条件緩和指導等により求人内容の充実を図るとともに、求人担当者制による事業所フォロー、求人充足会議や朝ミーティングを活用した求人情報提供など、より効果的なマッチングに取り組めます。 また、来所者端末のみ利用者の窓口誘導対策（案内文庁舎掲示、声かけ）、雇用保険受給者の認定日等を活用した職業相談など、現在取り組んでいる求職者確保対策を徹底・継続しつつ、充実・強化を図ります。
（４）その他業務運営についての分析等 新規求職者が減少（前年度比同 9. 6 % 減少）しているため、①潜在求職者の掘り起こし、②来所者端末のみ利用者の窓口誘導、③雇用保険受給者への定期的な求人情報提供および職業相談、④職員の職業相談技法及び接遇技法向上による再来相談者数の増加に取り組めます。 なお、潜在求職者の掘り起こしについて、介護・福祉関係は市役所（中津市人材バンク等）、若年者関係は商工会議所（ジョブ・カフェ等）、就職困難者等は中津市社会福祉協議会等の関係機関を中心に連携して取り組めます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	2, 149	1, 964	478	96. 0%	161	3, 703	988		
目標	2, 115	1, 889	493	97. 6%	56	3, 877	922		
目標達成率	101%	103%	96%	98%	287%	95%	107%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク日田 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

少子高齢化に伴う構造的な人口減少や新型コロナウイルス感染症の拡大により、当所においては新規求人数及び新規求職者数の減少傾向が続いており、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、雇用保険説明会の中止、失業認定における求職活動実績の特例措置実施による職業相談窓口での職業相談減少が重なり、例年以上に就職件数の確保が課題となりました。この課題に対応するために、来所した求職者に対しては窓口利用のメリットを説明し、潜在求職者の掘り起こし・窓口利用の活性化を行うとともに、積極的なマッチングを推進することにより、企業の従業員確保及び求職者の就職促進を図りました。

特に、令和元年度に取り組んだ職員選定によるマッチング求人への就職率が求職者の自選求人の就職率よりも高いことを説明し、来所した全窓口利用者に「オススメ求人」としてマッチング求人への応募を提案しました。また、来所が困難な求職者担当者制の対象者については、郵送による求人情報の提供による就職支援を行ったものです。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業紹介業務新任職員に対して、off-JT研修を実施し職員の育成及び専門性の向上を図りました。

また、業務進捗管理研修により、「目標」を共通認識とするとともに、目標達成に向けた「取組」を全職員が統一的に遂行すること、各自が目標達成のための方策を考える力を養うことを目的に実施しました。

さらには、LGBT等性的マイノリティに関する研修を実施し、職業相談等において性的なことを理由に差別することがないよう配慮することの意識付けを図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

来所者端末利用者に対して、総合受付等において職業相談窓口の利用のメリットを口頭による説明に加え、相談のメリット・ハローワークの支援内容を記載した案内をラミネート加工し総合受付及び来所者端末に設置し勧奨しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況の中、雇用失業情勢の変化を注視するとともに、少子高齢化による慢性的な「人手不足」への対応や「働き方改革」の推進という課題に対して、潜在求職者の掘り起こし、高年齢者の労働力の活用促進や求人の充足支援に引き続き取り組んでまいります。

また、求職者の早期再就職が実現するよう、求職者担当者制による個別就職支援や雇用保険受給者の給付制限中の職業相談の充実等を図る予定としています。

さらに、雇用保険受給者の早期再就職支援のため、失業認定日には必ず職業相談窓口へ誘導する方策について改善を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響により新規求職者の大幅な増加が懸念されましたが、令和２年４月は前年度を上回ったものの５月以降は減少し、前年度と比べ８．８％下回りました。また、新規求人数についても前年度と比べ１６．１％下回りました。それと相まって紹介件数３，９３６件（前年度比▲９．５％）、就職件数１，８２３件（前年度比▲７．８％）といずれも前年度を下回りました。特に、雇用保険受給者早期再就職については、再就職件数が４２２件（前年度比▲２５．８％）、再就職割合３３．３％（前年度比▲１０．６％）と前年度を大きく下回りました。しかし、紹介成功率は４６．３％と前年度と比べ０．８ポイント上昇しており、求職者の就職ニーズを的確に把握しマッチングを強化したことにより雇用の推進を図ることができました。

令和３年度は、雇用保険受給者早期再就職件数の増加に向けた改善を図ることとします。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1, 823	1, 699	422	89. 3%	55	3, 821	875		
目標	1, 873	1, 694	535	89. 9%	53	4, 020	881		
目標達成率	97%	100%	78%	99%	103%	95%	99%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐伯 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染症の影響から求職者、特に求人が大きく減少する中で就職件数及び充足数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に取り組むこととし、求職者への求人情報の提供を積極的に行いました。

具体的には、「朝ミーティング」で選定した求人の情報提供（電話や郵送により月８００件）や各支援員が一人あたり常時５人の重点求職者を選定し、きめ細かな就職支援を実施しました。

さらに、未充足求人の一部を毎週選定し、紹介部門と求人部門各々の視点から求人内容や条件の検証を行い、記載の追加や募集条件の緩和等をきめ細かく実施しました。

その結果、「常用就職件数」は目標の２，２６０件に対して２，２４５件と９９．３％、「常用充足件数」は目標の１，９６２件に対して２，００８件と１０２．３％の達成率となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業相談運営会議を月初めに開催し、当月の重点取組を複数選定し、相談員を含めた部門全員で共有しています。５月以降は、目標とした前月の具体的な取組とその結果としての就職件数や紹介件数を踏まえ、「求職者や事業所の反応」「取組実施者である自分たちの行動の振り返り」「他に良い方法はないか」等を検討し、結果が良い場合は「何が効果的であったのか」、そうでない場合は「何に課題があるのか」の視点で検討し、次の月の取組に反映しています。

これらの運営に上席職業指導官や紹介担当の若手職員が携わることにより、組織運営を理解し、窓口で取組を徹底することが出来ています。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルスの影響から求職や求人募集の両面の活動が停滞し、また、来所相談が控えられる中で、令和２年度は利用者からの反応も良く、また、窓口相談の増や相談の充実に繋がっている求職者への求人情報の提供（月８００件）の徹底、事後の電話相談やこれに基づく紹介に重点的に取り組みました。年間を通じて取組を行うことにより、利用者サービスとしての「情報提供や窓口相談等の増」、これに伴う「就職件数の増や充足数の目標達成」、加えて、窓口職員と求職者との関係性の構築や窓口職員の資質の向上に繋がり、一定の成果が認められています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ここ数年、所内「情報掲示板」での「シニア応援求人」や「子育て応援求人」の掲示など、中高年齢求職者や子育て世代を対象としたサービスの充実に努め、概ね順調に推移してきたところですが、感染症の影響から子育て中の女性求職者の減少や高齢者の不採用の増加が見られ、一方、管内事業主の人出不足感は依然として残っている状況です。このため、これらの取り組みを継続しつつ、年度後半からはじめた「今地域にある労働力を如何に活用するかといった視点」での事業主への働きかけを継続して取り組むこととしています。

(4) その他業務運営についての分析等

平成２７年国勢調査結果による人口減少率を市町村別にみると津久見市が▲９．８％（県内第２位）、臼杵市が▲６．５％（県内第８位）、佐伯市▲６．２％（県内第９位）と管内各自治体の人口減少対策が喫緊の課題となっています。

このように少子高齢化の進行により労働力人口の減少が深刻化している管内において、各自治体との連携をより一層深め、学卒者の地元就職の促進、また、引き続く人手不足対策として、中高年齢者や女性求職者の掘り起し、外国人労働者の受け入れやその雇用を管内企業へ働きかけ、求人充足サービスの強化を図っていきます。

また、受注に不安の残る造船業界の動きを注視し、雇用調整が発生した場合は自治体等関係機関と協力してその支援に取り組めます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 （受理地）	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	紹介により正社員就職に結びついた就職氷河期世代	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳以上の就職 件数		
実績	2, 245	2, 008	549	103. 7%	196	4, 467	1, 008	62		
目標	2, 260	1, 962	620	107. 2%	199	4, 692	986	57		
目標達成率	99%	102%	88%	96%	98%	95%	102%	108%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク宇佐 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、常用就職件数の目標達成を最重要と考え、その中の取組の一つとして求職者担当制による重点求職者の選定（常時１２名／人）を行い、その就職について求人情報提供等重点的に取り組みました。選定人数（目標常時１２名程度／人）は目標どおり選定し、選定した重点求職者の就職率は目標５１．６％以上を上回った６７．２％となりました。

また常用充足件数促進のため、毎日実施している求人充足会議の中で、求人フォロー担当者制を用いて、選定求人の充足のための求人条件緩和等重点的に取り組みました。年間フォロー件数１８０件、充足割合４０％以上を目標に取り組み、フォロー件数１８３件、充足割合６１．７％と目標を上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談の質の向上のため、「事例検討会」を実施しました（年間４事例）。参加者からは「思い込みや先入観のない相談を心掛けたい」や「本人に合った方法で対応することが重要だと改めて感じた」などの感想がありました。また、昨今増えている発達障害の理解を深めるために「発達障害研修」を行いました。

両研修に職業相談部門以外の職員も参加させることにより、若手職員の資質向上にもなりました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足対策や職業転換を促すきっかけの場としての取組として、応募書類等準備なしで気軽に参加可能な「事業所ミニ説明会」を開催しました（毎週２日。新型コロナウイルスの関係で実施できない期間もありましたが、延べ４２事業所が参加しました。）。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・異動等により相談窓口の入れ替わりがあるため、継続して「事例検討会」を実施していきます。
- ・引き続き求人者マイページの周知・作成に取り組んでいきます。
- ・「事業所ミニ説明会の案内」を各相談窓口に配置し、窓口での積極的な参加を促します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所の主要産業である自動車関連部品製造業等で、令和２年３月から８月にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な休業が発生し、求人が激減しました。年度後半は、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、求人の回復傾向が見られますが、一部卸売業、小売業や宿泊業、飲食サービス業では、厳しい状況が続いています。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

前出しました職業相談の質の向上のための「事例検討会」ですが、事例発表者の悩みの解消、他の人の意見を聞いて参考になったなど、その後の相談の質の向上が図られました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹介により正社員に 結び付いた氷河期 世代の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	所で選択 して記載	所で選択 して記載
実績	1, 671	1, 553	478	104. 8%	109	2, 946	786		
目標	1, 852	1, 643	486	105. 5%	76	3, 292	888		
目標達成率	90%	94%	98%	99%	143%	89%	88%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク豊後大野 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項 ① 各指標に対する取組 当所では、就職件数と充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、コロナ禍で来所を手控える中、担当者制による支援として電話相談を行うとともに求人情報の提供を積極的に行いました。 また、令和２年度から新たに「事業所ミニ説明会」の取組を開始しました。この取組については、慢性的に人材が不足している業種を中心に求職者に対し直接企業の情報を伝えたいという要望があり毎週木曜日に開催しました。利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいています。 ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組 当所では、職業相談、求人受理時に労働基準法が必要となるため、毎年１回基準法に関する疑義について監督官を招き研修を行っています。また、全職員を対象として、雇用保険関係業務、各種助成金および派遣法に関する研修を行っております。
（２）サービス改善・業務改善を図った事項 当所管内求職者においては、高年齢者の求職者が４割以上も占めているため、分かりやすい求人情報提供を目指し、ロビーに「シニア応援求人コーナー」を設け、Ａ３版に拡大した「求人早見シート」を掲示しています。 その他に、令和２年度から新たに「事業所ミニ説明会」の取組を開始しました。この取組については、慢性的に人材が不足している業種を中心に求職者に対し直接企業の情報を伝えたいという要望があり毎週木曜日に開催しました。利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいています。 また、竹田市ふるさとハローワークにおいて、竹田市内の求人充足を図るため、情報コーナーを設置し、利用者に分かりやすく各種情報を掲示しています。
（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について 事業所ミニ説明会は、毎週木曜日に実施していましたが、求職者への周知等の期間が短く、相談者が少ない状況があったため、令和３年度は月２回の開催とし、参加企業数を１社から２社に増やし、そのうち１社を医療・福祉関係事業所として、求職者への周知を図っているところです。 また、職員・非常勤職員の相談技術がどの程度あるのかの確認と相談技術の向上を目的に、令和３年度から職員・非常勤職員のロールプレイを実施し、自分の相談方法等に問題がないか、他の者の相談技法でよい点が何かなど、職員・非常勤職員の組み合わせを変えながら技術の向上を図っているところです。
（４）その他業務運営についての分析等 現在（令和３年８月時点）当所は、県下で求人倍率が一番高い所であり、求職者の４割以上が６０歳以上の高齢者が占めており、求人充足が難しい状況にある中、充足のため求人票の仕事内容について、事業所に具体的な内容を記載するよう依頼しているところですが、事業所によっては、「面接に来た時に詳細に説明するから」、「このままでいい」など、求人票の記載に非協力的な事業所が多々あり、対応に苦慮しています。一方、求職者に至っても、求人情報を電話等で提供しても、「その会社は…」など、地域性なのかイメージ先行でなかなか上手くいかないと言った声が窓口職員から聞かれます。 このような状況ではありますが、月に１回程度事業所訪問などを通じて、仕事内容の詳細化や求人票以外の情報収集に取り組んでいるところです。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数 (必須指標)		
実績	1,004	827	250	102.9%	80	2,196	435		
目標	1,106	926	262	104.3%	55	1,746	419		
目標達成率	90%	89%	95%	98%	145%	125%	103%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの職業紹介業務目標の 進捗状況について

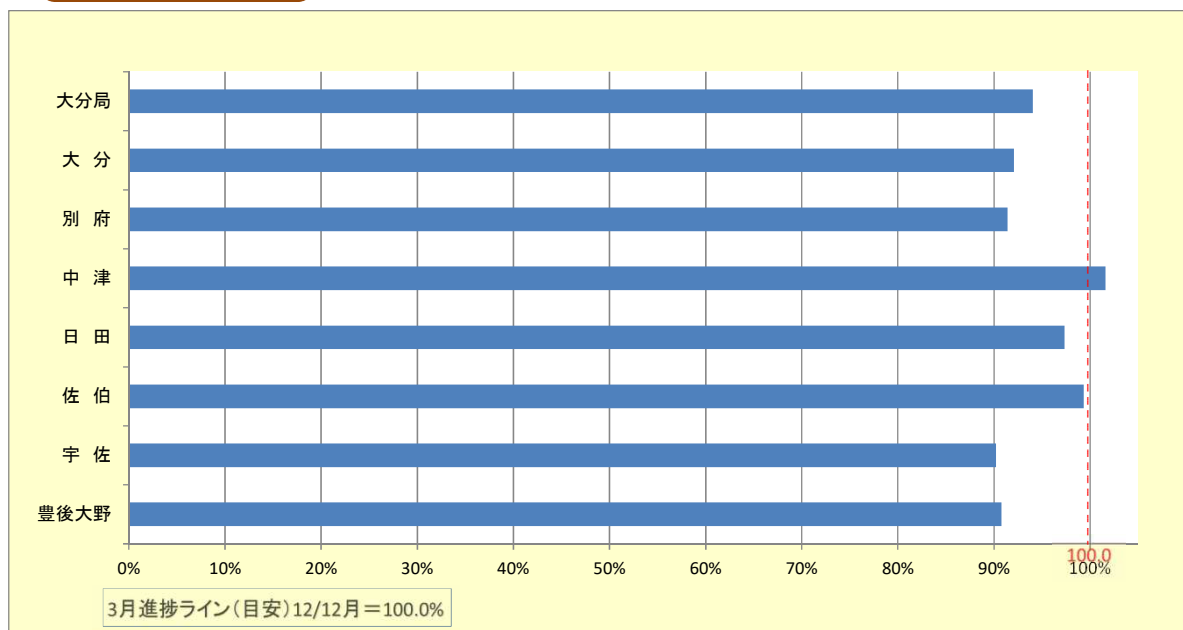
令和3年3月

就職件数(常用)

実績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	20,007	1,818	1,281	1,681	1,460	1,391	1,554	1,693	1,440	1,263	1,222	1,556	2,454	18,813	94.0%
大 分	7,406	601	427	642	542	481	507	579	540	468	456	584	991	6,818	92.1%
別 府	3,395	278	224	249	238	246	272	333	250	221	178	259	355	3,103	91.4%
中 津	2,115	195	150	191	167	178	188	200	160	142	143	181	254	2,149	101.6%
日 田	1,873	177	147	170	137	135	149	150	126	117	122	157	236	1,823	97.3%
佐 伯	2,260	355	168	205	162	156	182	199	155	134	144	163	222	2,245	99.3%
宇 佐	1,852	129	109	151	146	110	151	151	122	118	118	137	229	1,671	90.2%
豊後大野	1,106	83	56	73	68	85	105	81	87	63	61	75	167	1,004	90.8%

進捗状況



ハローワークの職業紹介業務目標の 進捗状況について

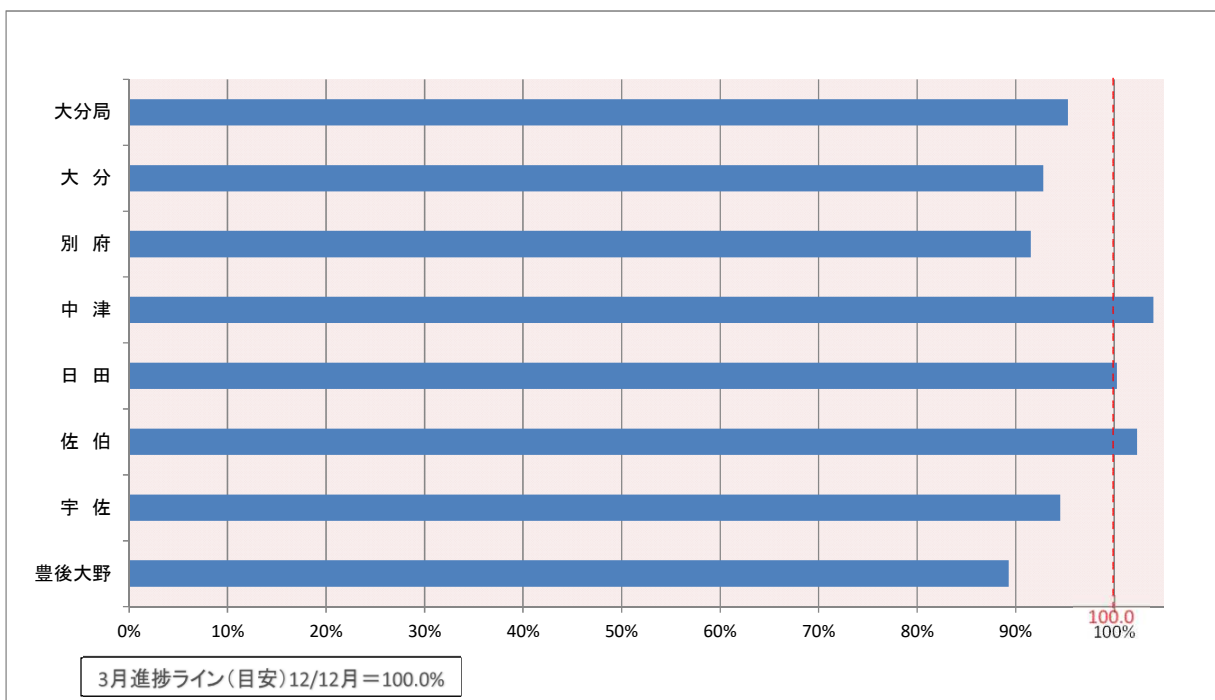
令和3年3月

充足件数(常用 受理地ベース)

実績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	19,462	1,798	1,235	1,671	1,440	1,370	1,518	1,651	1,401	1,225	1,208	1,544	2,485	18,546	95.3%
大 分	8,381	715	512	709	631	568	601	648	602	515	502	671	1,105	7,779	92.8%
別 府	2,967	230	184	235	197	217	240	295	228	196	163	208	323	2,716	91.5%
中 津	1,889	170	134	188	150	151	161	179	124	130	135	170	272	1,964	104.0%
日 田	1,694	170	132	168	133	139	135	146	115	102	106	141	212	1,699	100.3%
佐 伯	1,962	333	143	180	134	128	156	177	146	122	131	153	205	2,008	102.3%
宇 佐	1,643	113	90	136	129	98	140	136	124	109	129	136	213	1,553	94.5%
豊後大野	926	67	40	55	66	69	85	70	62	51	42	65	155	827	89.3%

進捗状況



ハローワークの職業紹介業務 目標の進捗状況について

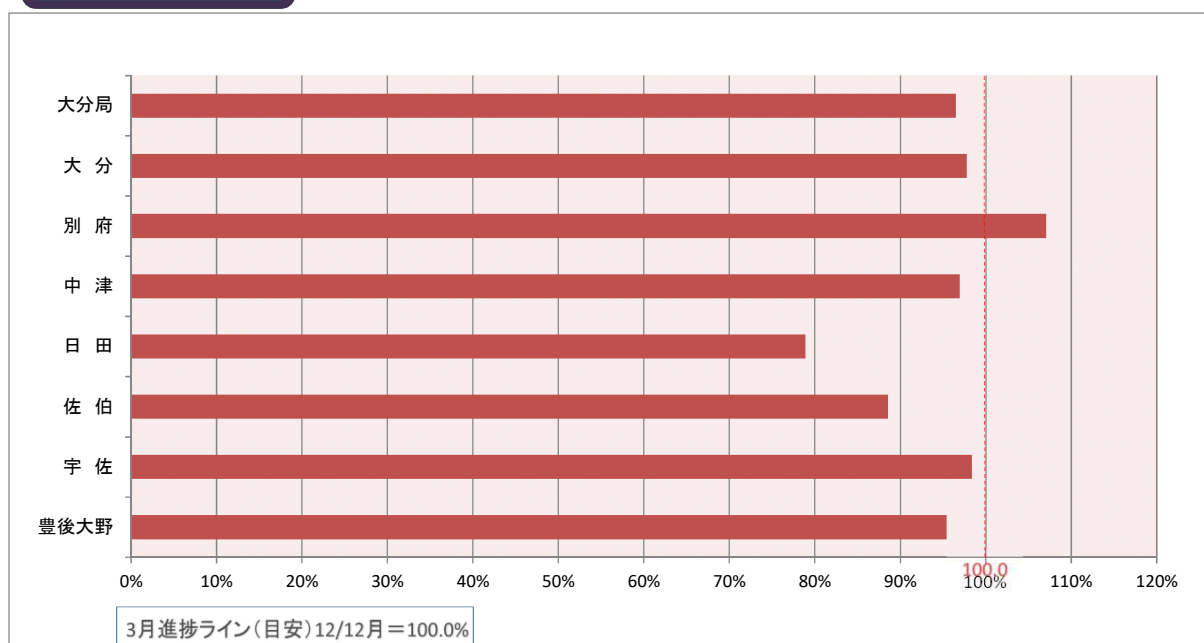
令和3年3月

雇用保険受給者の早期再就職件数

実績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	5,859	491	555	630	576	469	432	504	464	460	322	341	410	5,654	96.5%
大 分	2,483	223	259	257	267	211	176	211	216	164	147	131	166	2,428	97.8%
別 府	980	84	93	132	95	86	74	104	74	121	56	63	67	1,049	107.0%
中 津	493	31	51	48	39	45	35	33	39	54	27	31	45	478	97.0%
日 田	535	36	39	59	47	40	35	37	23	27	21	25	33	422	78.9%
佐 伯	620	52	52	61	56	32	53	50	48	43	22	45	35	549	88.5%
宇 佐	486	35	37	57	46	43	44	41	28	37	35	33	42	478	98.4%
豊後大野	262	30	24	16	26	12	15	28	36	14	14	13	22	250	95.4%

進捗状況



※ 雇用保険受給者の早期再就職件数については、1ヶ月遅れの公表となります。